令和５年１１月２７日発行
妙高市立新井南小学校
学校だより　１１月号

城山

チャレンジ、スマイル
そして、「リスペクト」

校長　丸山　文雄

６年生が、１１月１５日（水）～１７日（金）の二泊三日で東京方面へ宿泊体験学習に出掛けました。通常の修学旅行は一泊二日ですが、当校では二泊三日の宿泊体験学習とし、三日目は班別行動を実施しました。

上越妙高駅で行われた出発式。大きな期待と小さな不安を抱いている子どもたちに、これまでのチャレンジとスマイルに付け加え、「リスペクト（尊重）」について話しました。宿泊体験学習のねらいを達成するためには、お互いの気持ちを尊重した言動が何より大切だからです。

三日目の班別行動。あいにくの雨模様で、予定した計画がなかなか進まないそのとき、「時間がないから、ここでご飯を食べよう。」と話すリーダー。リーダーは昼食で都内有数のカレーショップに行きたかったはずですが、現状を鑑みて計画を見直し、しなやかな対応をしました。

この姿を更に広げられるよう、教育活動を展開してまいります。

※東京スカイツリーにて

多くの皆様からご来校いただき ありがとうございました。

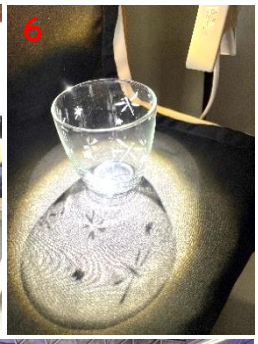
「青少年基金図書」が入りました・・・・・・・・・・・・

昭和 53 年、新井信用金庫様から新井信用金庫 30 周年記念事業として、旧新井市に基金が寄付され、市の図書館や小・中・特別支援学校の図書購入資金を支援する「青少年図書充実基金」が設立されました。同基金の運用収益金を活用して購入された本が「青少年基金図書」です。今年も以下の 21 冊、金額にして 24,000 円程度の図書を購入させていただきました。感謝の気持ちをもって大切に使わせていただきます。ありがとうございました。

「ぼくはいったいどこにどこにいるんだ」、「かみはこんなにくちゃくちゃだけど」、
「日々憶測」、「その本は」　ヨシタケシンスケ　著
「ノラネコぐんだん　うみのたび」　工藤ノリコ　著
「ドラえもん社会ワールド（社会が楽しくなる!都市とまちづくりの未来、社会がよくわかる！産業とくらし、みんなのための法律入門、日本の地理とくらし、世界の地理とくらし、経済がよくわかる、お金のひみつ）」などシリーズ計 14 冊　藤子・F・不二雄　著
「大ピンチずかん」　鈴木のりたけ　著
「学校にまにあわない」　ザ・キャビンカンパニー　著

宿泊体験学習（11月15～17日）・

東京方面　※思い出のスナップ



12月の予定表・・・・・・・

日(曜)	予　　定
1日(金)	4年PTC活動(笹寿司づくり)
	5年ＰＴＣ（うみがたり見学)
	6年ＰＴＣ（コサージュづくり)
	15:00下校　※5年を除く
4日(月)	登下校指導 14:35～14:55
5日(火)	フリー参観、２学期末学校説明会、
	臨時ＰＴＡ総会、学級懇談会、
	学年懇談会
	4年歯肉炎予防教室1限
	1年むし歯予防教室2限
	いじめ見逃しゼロスクール集会3限
7日(木)	体験入学・入学説明会（妙高中)
11日(月)	口座振替、ふむふむ委員会イベント
12日(火)	4～6年そば打ち（長沢会館)
14日(木)	委員会⑨
18日(月)	サザンスター
19日(火)	全校下校 15:00
20日(水)	全校下校 15:00
21日(木)	全校下校 15:00
22日(金)	第２学期終業式、給食最終日、
	全校下校 13:30
23日(土)	冬休み(～令和6年1月8日)

1 東京駅到着、 2 ホテル宿泊
3 浅草寺参拝、 4 国会議事堂見学
5 江戸切子体験、 6 江戸切子完成品
7 ディズニーランド、8 東京モノレール乗車
9 夕食、 10 班別行動(小石川植物園)

入賞おめでとう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◆「妙高市民の心」作文、詩・手紙コンクール

部　門	タイトル	賞	学年	名　前
詩・手紙　小学生1～3年生の部	ありがとう	最優秀賞	2年	MYさん

◆妙高型イエナプラン教育（移行期）の軌跡　其の七◆

11 月 2 日（木）、田中教諭が長野県伊那市立伊那小学校を視察。

妙高市教育委員会のご配慮で、妙高市内の９名の先生が視察を行いました。

伊那小学校は、60 年間、通知表や時間割りがない「体験型総合学習」を行っている公立小学校です。公開授業では、担任の先生が子供と同じ視線で空間を共有するだけでなく、共に学び、共に楽しむ姿が印象的でした。妙高型イエナプラン教育の本質にかかわる内容が多くありました。

伊那小学校では、子ども観(子どもをどう捉えるか、見るか)を大切にしていました。伊那小学校では「子どもは、自ら求め、自ら決め、自ら動き出す力をも持っている存在」という子ども観に立ち、子どもの求めや願いに沿って学習活動を展開し、子ども一人一人の自分らしい成長に寄り添っていました。

子どもは、「未熟で教え導かなくてはならない存在」ではなく「成長していく存在」です。子どもを信頼し、共に成長を喜ぶそんな教育環境づくりを進めていきます。（田中　洋平）

11 月 20 日（月）、オープンスクール、イエナプラン教育に係る研修会を実施。

延べ 40 名もの先生や CS 委員、オープンスクール・体験入学者をお迎えしました。そのうち、オープンスクール・体験入学では、県外を含む３家族５名のお子さんが参加されました。

＜公開授業＞

＜研修会＞

研修会では、講師の桑原先生から、「子どもが、一日一日の理想を思い浮かべて活動できるよう、教師が見取り支援すること」の大切さについてご指導いただきました。また、参観された関西大学の岩﨑教授からは、「一人一人の支援計画がしっかりと立てられ、一人一人の現状に応じた支援ができていて素晴らしい」との嬉しいお言葉がありました。

協議を通して、自分から学ぶ重要性や妙高型イエナプラン教育を実践する上で教職員が目指す子どもの姿を共有することの大切さを再確認することができました。